

カリキュラムの特色と編成

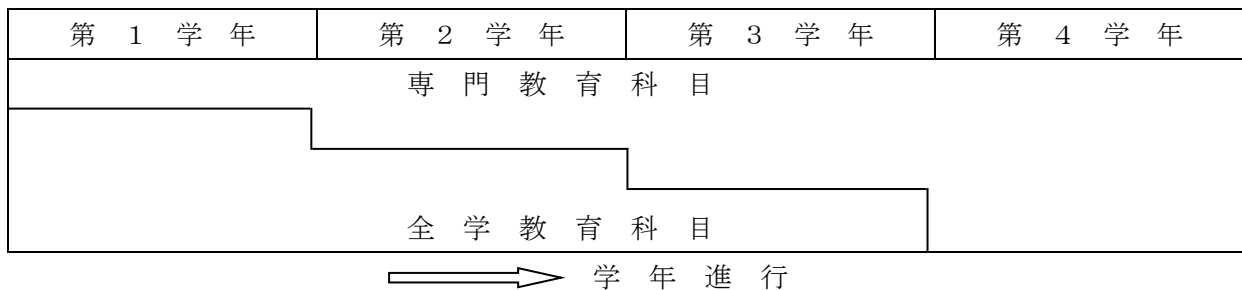
◆ カリキュラムの特色

看護福祉学部では、基本理念である「看護と福祉の連携・統合」を積極的に展開するために看護学科・福祉マネジメント学科の密接な関連付けが行われています。両学科に共通する4領域「人間」「環境」「健康」「実践」を設定し、それらの概念をベースとして、各領域における科目間の関連と一貫性を保つことが可能となっています。

領域 I	領域 II	領域 III	領域 IV
人間 人間存在の 在り方	環境 看護・福祉を 取り巻く環境	健康 健康と人間との 相互作用	実践 ケア提供者と受け手との 相互作用

◆ カリキュラムの編成

看護福祉学部のカリキュラムは、北海道医療大学の全学及び学部の教育目標を達成するため、「全学教育科目」と「専門教育科目」から編成されます。「全学教育科目」とは、全学共通の視点から提供される授業科目群のことを指し、主に全学教育推進センターの教員によって授業が提供されます。「専門教育科目」とは、専門教育の視点から提供される授業科目群のことを指し、主に学部学科ごとの専門教育担当教員によって授業が提供されます。第1・2学年は全学教育科目を中心に専門教育科目を交えながら学習します。学年の進行につれ、専門教育科目の比重が高くなり、最終的に国家試験の合格に十分な実力を形成するように組み立てられています。



◆ 各学年における学習の流れ

第1学年	全学教育科目及び専門教育科目を通し、高度教育の効果的な発展を促進するとともに、学習動機の明確化を図り自律性と協調性を形成します。
第2学年	全学教育科目と専門教育科目との融合を図ることにより、看護・福祉に共通する資質を確立するとともに、専門知識の基礎を修得します。
第3学年	講義科目及び演習・実習を通し専門知識を深め、最終学年における統合化の準備にはいります。
第4学年	3年次までの成果の上にとって、さらなる実習、専門演習、卒業研究を通じて理論と実践の双方に習熟した高度な専門資質の形成をめざし、国家試験に備えます。